

[シンポジウム]

その進路選択 ホントに合っていますか？

~モノづくりは人づくり：**早活人材**※の未来を考える~
「モノづくり王国」愛知県ならではのキャリア教育とは？

-意欲ある子ども達のやる気を高めるために-
-より高い技能をもった現場人材を確保・育成するために-

何が必要か

※早活人材とは
高卒や専門学校卒は
「非大卒」とネガティブに
呼ばれる事もあるため
「早活人材」という新名称を提唱

山口 健
愛知県議会議員

河合 満
トヨタ自動車(株)Executive Fellow
(おやじ:元副社長)

古屋 星斗
リクルートワークス研究所 主任研究員

毛受 芳高
(一社)アスパシ代表

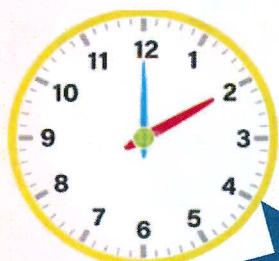


基調講演 (河合 満)

人材育成の本質と
モノづくりの醍醐味
について講演

問題提起(古屋 星斗)

「大学進学」は割に合うか
早活人材の可能性
について



14:00~

発起人挨拶(山口 健)
愛知県の産業視点で
キャリア教育の課題を提起

14:55~

報告(愛知県教育委員会)
「産業イノベーション人材育成等」
について

15:45~

パネルディスカッション
愛知でキャリア教育を拡
げ続ける毛受芳高が
コーディネート

参加対象者

小中学校の校長・教頭・進路指導教員
会社経営者・採用担当
キャリア教育に関心ある保護者

高校の校長・教頭・教諭
労働組合役員

開催概要・主催

7/30(木) 14:00-16:30(予定) **参加費無料**(定員500名)

岡崎市 せきれいホール 岡崎市朝日町3丁目36-5

お車でお越しの方は、岡崎市役所 東駐車場をご利用下さい

お問い合わせ・申込はこちらから



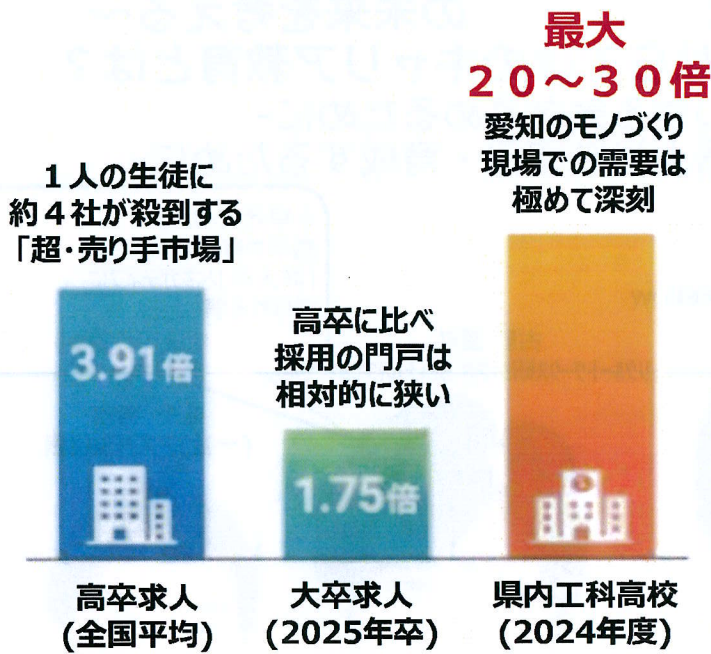
主催：『モノづくりは人づくり』研究会

後援：愛知県教育委員会・岡崎市教育委員会・愛知教育大学

(一社)国際パートナーシップセンター・全トヨタ労働組合連合会・(一社)アスパシ

【早活シンポジウム】モノづくりは人づくり:高卒就職の現状と未来

進学よりも就職のほうが「選べる」現状



大学生の約半数が
平均300万円の
奨学金を背負って卒業する

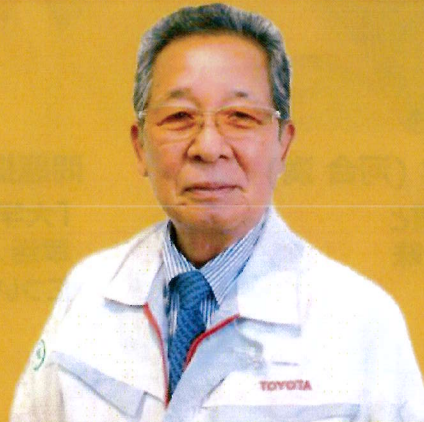


【ロールモデル】現場一筋からトヨタ副社長へ:河合満氏の歩み



16歳でトヨタ自動車に就職し
「副社長」へ

技能職出身として初の副社長に就任



「我が人生
一生挑戦、一生勉強」

現場での経験(技能)と技術こそが
未来を切り拓く力になる



モノづくりは「人づくり」

技能系人材が愛知の産業を支え
自ら学び続ける重要性を提唱

【経歴】河合 満

1948年生まれ

1963年トヨタ技能養成所 入所

1966年本社工場 配属

1999年 鍛造部 課長

2005年 鍛造部 部長

2008年 本社工場 工場長

2017年 副社長